

「未来を創造し、社会に貢献する人材の育成」

平成30年度 柳津町立会津柳津学園中学校

学校だより

平成30年5月18日(金)発行 第 7 号 発行責任者:高橋 弘悦

おみごと！第一回生徒会総会

11日、会津柳津学園中学校初めての生徒会総会が開催されました。今年度は統合初年度ということもあり、旧2校の生徒会役員が新生徒会の役員を継続して担います。

総会では、生徒会執行部をはじめ、各委員会、各部の部長が前期の活動方針、活動計画



を発表。その後会員からの質疑・応答が活発に行われました。

子ども議会を経験しているためか、大変見事な議論が展開され、創立を意識して、よりよい活動をしていきたいという意気込みを感じました。

社会で役立つ力というのは、決められたことや与えられたことを着実にこなすというものではありません。自ら課題を見つけ出し、解決していくという力が必要になります。前期は中体連大会や文化祭準備といった学校行事をはじめ、環境活動等の数多くの取り組みが予定されています。

創立初年という記念すべき年です。生徒会役員の皆さんがリーダーとなって、学校を良い方向に変えていってくれることを期待しています。

全会津陸上大会に32名参加

16日、両沼大会に引き続き、全会津陸上競技大会が開催されました。本校からは32名が出場。その勇姿を全会津に披露しました。

入賞はありませんでしたが、生徒一人ひとりが自分の力をしっかりと発揮することができました。



授業を大切にする姿勢を身につけよう！

6月5日の中体連総合体育大会に向けて、各部の活動がいよいよ佳境に入ってきました。「家に帰ると疲れて何もできない…」という生徒も少なくないと思います。ただ、こういう時期だからこそ、やるべき事をやる姿勢、忙しい時期にこそ、授業に臨む姿勢を身につけて欲しいと思っています。

2年前柳津町においでいただき、講演していただいた「バカヤンキーでも死ぬ気でやれば世界の名門大学で戦える」の著者 鈴木琢也さんは、その著書の中で次のように書いています。

「イケてる学生は、講義を徹底的に集中して聞いている。そしてわからないところがあればその場で質問し、授業が終わったときには内容をほぼカンペキに理解しているようだった。これに比べ、ぼくは「あとで調べよう」「週末にキャッチアップして追いつこう」として、授業の時間を軽視していた。

『これまでほとんど勉強してこなかったから、すぐ理解するのはムリだ。仕方がない』

そう思い込んでいたのだが、これが理解を先延ばしするクセとして身につけてしまったのだ。その結果、授業の内容を一から丸ごとトレースして復習する時間が必要になっていた。

『授業を2回受けているのと同じで超ムダじゃん。』



あまり勧められたことではありませんが、「家庭学習の習慣がない」「家では勉強したくない」という人がいます。こういう人ほど授業で理解しきる姿勢を身につけることが大切です。部活動で忙しい、部活動で疲れる今の時期こそ、授業を大切にし、理解しきる習慣を身につけるチャンスです。ここでこの姿勢を身につけることができれば、テスト前の勉強もより効率的に進められるようになります。

中学生の授業の受け方5つのポイント

- 1 「予習や準備ができている」
- 2 「視線を上げて、先生や黒板に集中している」
- 3 「先生の話や解説をノートにメモしている」
- 4 「習ったことを授業内で覚えたり理解するように努める」
- 5 「分からなかったことは早めに質問する」

